

比屋根湿地周辺の環境整備工事後の底生動物出現状況



## 比屋根湿地周辺の環境整備工事後の底生動物出現状況

環境整備工事前後の出現種の傾向の変化について、整備工事前（H13～23 年度）と整備工事後（H24～R6 年度）での出現回数の観点から、以下の法則に基づき、工事後の期間に偏って出現がみられた種（頻出種）を整理した。

- ①整備工事前（全 21 回）と整備工事後（全 26 回）の出現回数に、それぞれ調査回数に基づく補正※をかけた上で、補正後の全体出現率 25%以上の種を抽出
- ②整備工事後の出現率（期間内の出現回数（補正後）/合計出現回数（補正後））が 75%以上の種を頻出種として整理。

$$\text{※整備前 or 整備後補正出現回数} = \text{整備前 or 整備後出現回数} \times (\text{全調査回数} / \text{整備前 or 整備後調査回数}) \times 0.5$$

環境整備後の調査における頻出種を表 1 に示す。

整備工事後（H24～R6 年度）に多く見られた種は、軟体動物 36 種（イロタマキビ、ゴマセンベイヤワモチ、コハクオカミミガイなど）、甲殻類 30 種（ハナグモリ、カワテッポウエビ、ユビナガホンヤドカリなど）であった。

環境整備工事後の頻出種について、図鑑等の文献の記載から沖縄本島での分布状況について確認した結果を表 2 に示す。明確に沖縄本島の分布が確認できなかった種はスジエビ及びヒルギノボリヨコバサミの 2 種であった（表 3 参照）。

表 1 環境整備後の調査における頻出種

区分	分類群	頻出種
整備工事後 (H24～R6 年 度)	軟体動物 (36 種)	インダタミアマオブネ、ヒラマキアマオブネ、ニセヒロクチカノコ、ツバサカノコ（ヒロクチカノコ沖縄型）、ミヤコドリ、コゲツノブエ、カヤノミカニモリ、ヌノメカワニナ、ネジヒダカワニナ、イロタマキビ、イボタマキビ、マンガルツボ、クビキレガイ、エドガワミズゴマツボ、カニノテムシロ、ゴマセンベイヤワモチ、ヘソアキコミミガイ、シュジュココミミガイ、クリイロコミミガイ、ヒゲマキシイノミミミガイ、コハクオカミミガイ、サカマキオカミミガイ、ヌノメハマシイノミミガイ、ヘリトリアオリ、マクガイ、ウメノハナガイ、タガソデモドキ、ヤエヤマヒルギシジミ、アラスジケマンガイ、イオウハマグリ、ヤエヤマスダレ、ダテオキシジミ、ヌノメセミアサリ、ハナグモリ、ヌノメイチョウシラトリ、トガリユウシオガイ
	甲殻類 (30 種)	ヨシエビ、ウシエビ、オオテナガエビ、フトユビスジエビ（ユビナガスジエビ）、スジエビ、 <i>Alpheus dispar</i> 、マングローブテッポウエビ、イソテッポウエビ、カワテッポウエビ、テッポウエビ属 C、セジロムラサキエビ、ハサミシャコエビ、ヒルギノボリヨコバサミ、アンパルツノヤドカリ、ユビナガホンヤドカリ、マルミトラノオガニ、ミナミトラノオガニ、ハシリイワガニモドキ、オオベンケイガニ、キノボリベンケイガニ、ミゾテアシハラガニ、リュウキュウアシハラガニ、リュウキュウコメツキガニ、チゴイワガニ、タイワンヒメオサガニ、フタハオサガニ、ヨコスジオサガニ、ホルトハウスオサガニ、ミナミメナガオサガニ、ミナミヒメシオマネキ

表2 環境整備後の調査における頻出種の沖縄本島での分布状況

No.	分類	綱名	目名	科名	種名	沖縄本島での 確認状況	干潟生物生息 状況調査での 確認状況			
1	軟体動物	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	イシダミアアマオブネ	○	○			
2					ヒラマキアマオブネ	○				
3					ニセヒロクチカノコ	○				
4					ツバサカノコ(ヒロクチカノコ沖縄型)	○				
5					ユキスズメガイ科	ミヤコドリ	○			
6			新生腹足目		オニツノガイ科	コゲツノブエ	○	○		
7						カヤノミカニモリ	○			
8						トゲカワニナ科	ヌノメカワニナ	○	○	
9					ネジヒダカワニナ	○	○			
10					タマキビ科	イロタマキビ	○	○		
11						イボタマキビ	○			
12					ワカウラツボ科	マンガルツボ	○	○		
13					クビキレガイ科	クビキレガイ	○			
14					ミズゴマツボ科	エドガワミズゴマツボ	○			
15					ムシロガイ科	カニノテムシロ	○	○		
16					汎有肺目		イソアワモチ科	ゴマセンベイアワモチ	○	○
17								オカミミガイ科	ヘソアキコミミガイ	○
18							シュジュコミミガイ	○		
19							クリイロコミミガイ	○		
20							ヒガマキシイノミミガイ	○		
21			コハクオカミミガイ	○						
22			サカマキオカミミガイ	○						
23			ヌノメハマシイノミガイ	○						
24			二枚貝綱	ウグイスガイ目			マクガイ科	ヘリトリアオリ	○	○
25								マクガイ	○	○
26				マルスダレガイ目				ツキガイ科	ウメノハナガイ	○
27					フナガタガイ科	タガンデモドキ			○	○
28					シジミ科	ヤエヤマヒルギシジミ		○		
29					マルスダレガイ科	アラスジケマンガイ		○	○	
30						イオウハマグリ		○	○	
31						ヤエヤマダレ		○	○	
32						ダテオキシジミ		○		
33					イワホリガイ科	ヌノメセミアサリ		○	○	
34					ハナグモリ科	ハナグモリ		○	○	
35					ニッコウガイ科	ヌノメイチョウシラトリ		○	○	
36			トガリユウシオガイ	○		○				
37	甲殻類	軟甲綱	エビ目	クルマエビ科	ヨシエビ	○	○			
38					ウシエビ	○	○			
39				テナガエビ科	オオテナガエビ	○				
40					フトユビスジエビ(ユビナガスジエビ)	○				
41					スジエビ					
42				テッポウエビ科	<i>Alpheus dispar</i>	○	○			
43					マングローブテッポウエビ	○				
44					イソテッポウエビ	○	○			
45					カワテッポウエビ	○	○			
46					テッポウエビ属C	○				
47					セジロムラサキエビ	○	○			
48					ハサミシヤコエビ科	ハサミシヤコエビ	○	○		
49				ヤドカリ科	ヒルギノボリヨコバサミ					
50					アンバルツノヤドカリ	○	○			
51				ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	○	○			
52				ケブカガニ科	マルミトラノオガニ	○				
53					ミナミトラノオガニ	○				
54				イワガニ科	ハシリイワガニモドキ	○	○			
55				ベンケイガニ科	オオベンケイガニ	○				
56					キノボリベンケイガニ	○				
57					ミヅアシハラガニ	○				
58				モクズガニ科	リュウキュウアシハラガニ	○				
59				コメツキガニ科	リュウキュウコメツキガニ	○	○			
60				オサガニ科	チゴイワガニ	○	○			
61					タイワンヒメオサガニ	○				
62					フタハオサガニ	○	○			
63					ヨコスジオサガニ	○				
64					ホルトハウスオサガニ	○				
65					ミナミメナガオサガニ	○	○			
66					スナガニ科	ミナミヒメシオマネキ	○	○		
		計		64	35					

表 3 沖縄本島での分布が確認されていない種の生態特性及び沖縄本島以北の分布状況

門名	綱名	目名	科名	和名	生態特性	沖縄本島以北の出現状況	
						北海道、本州、九州	南西諸島(沖縄以北)
節足動物門	軟甲綱	エビ目	テナガエビ科	スジエビ	河川の下流から上流、湖沼など幅広く生息する。北海道から奄美大島にかけて記録があり、沖縄島からの記録は移入であると考えられる。	○	○
			ヤドカリ科	ヒルギノボリヨコバサミ	高潮帯の泥底、河口域にみられるヤエヤマヒルギの小木の幹や根の上で見つかることが多い。石垣島、西表島、インドネシアに分布。		

